

本人・保護者と共につくる支援シートI これまでの支援 これからの支援

ふりがな 氏名	所属機関	記入日	相談メンバー
横須賀 花子	△△小学校 ↓ □□中学校		○横須賀 はま子（母親） ○大津 三春（担任）

*記入者には○印をつける

Needs 本人・保護者の 願い	<ul style="list-style-type: none"> ・国語、数学は本人に合った勉強をさせたい。 ・国語、数学以外の授業や学校生活は、できる限り通常の学級で学習をさせてほしい。 ・間違いや失敗をすることが多いが、叱られると固まってしまう傾向があるので、本人にわかるように指導を進めてほしい。
健康 家庭生活・	<ul style="list-style-type: none"> ・暗い場所や狭い場所が苦手である。 ・負荷がかかるとアトピーの箇所をかきむしってしまうことがあるので、気にかけていただきたい。

Do	項目	内容
これまでの取り組み	生活面 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・体調のよくない時は保健室に行きたがることが多いので、養護教諭に協力してもらいできるだけ早く教室へ戻れるように促してもらった。 ・興奮している時や何かに夢中になっている時は注意をしても何も聞こえていないようなので、落ち着いてから話をするようにする。
	学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・計算と漢字は課題の数を少なくして、必ず取り組むようにしてきた。 ・大人数の前での発表は苦手だが、自分から挙手をした時には、出来る限り指名をして発表してもらった。

See	これまでの取り組みの評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生活面 コミュニケーション 朝会等で自分の位置がわからなくなることがあるので、前後の児童に声かけを依頼していた。そのため、位置がわからずに興奮してしまうこともなく、スムーズに活動に参加できるようになった。 ・保健室にいる時間は少しずつ短くなってきた。 ・学習面 算数は少人数指導なので騒音が少なく、他の教科よりも参加しやすかったと本人も自覚している。しかし、答え合わせで誤答がわかると、怒ったり固まったりしてしまうことがある。間違えてもいいことを伝え、本人の気持ちが落ち着くまで様子を見ている。 ・指名されても自分の意見を言えるようになってきた。また、発表する際には間違えてもいいことを伝えておくことで安心して発表することができていた。
-----	--------------	--

Plan	これからの計画（一年間）	<ul style="list-style-type: none"> ・興奮し過ぎた時には、落ち着けるスペースで一人になれるよう場所を提供する。 ・国語、数学以外の教科は、出来る限り通常の学級で授業を受ける。ただし、単元によっては支援級で授業を行うこともある。
	受け手側の学校・機関で記入します これからの指導・支援	